



2024 子どもへのまなざし運動 取り組み状況アンケート結果【企業等】

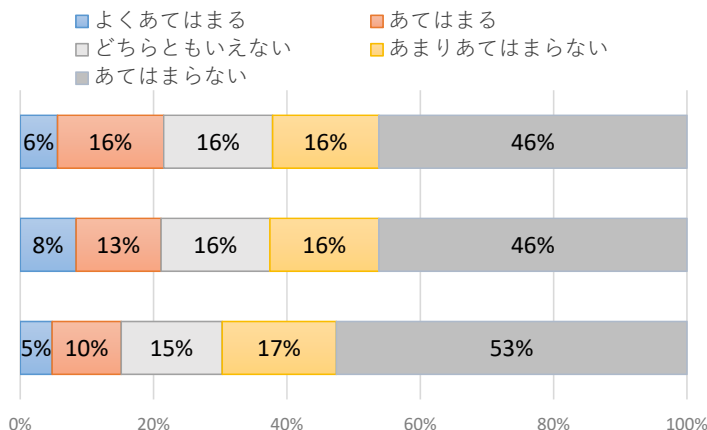
【実施期間】 R6.8.9～9.9

【対象企業】 824社

【有効回答数】 251社 回答率30.5%

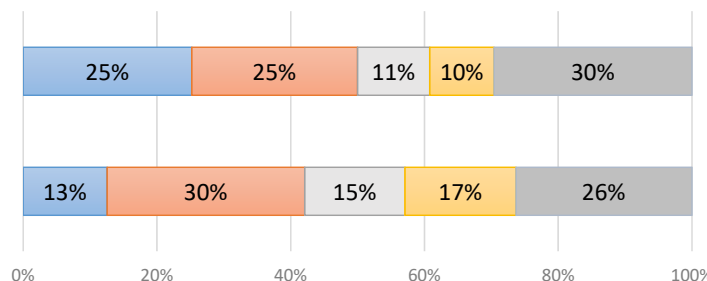
働くことの意義を伝える

1. 職場参観日など、保護者の働く姿を見る機会を設けている
2. 職場見学など、働く楽しさを伝える子ども向けのイベント等を行っている
3. 職場見学など、子どもを対象としたイベントを行った際は情報発信をしている



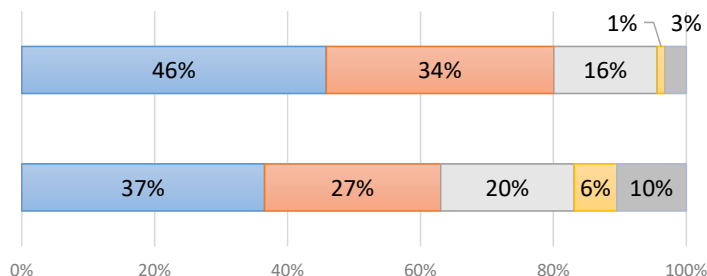
子どもの自立を促す取り組みの推進

4. 子ども（特に中学・高校生）の就業体験を受け入れている
5. 企業の持つ知識・技術・人材等を、子どものために学校や地域等で活かしている 例:ゲストティーチャーや学校・地域行事への協力



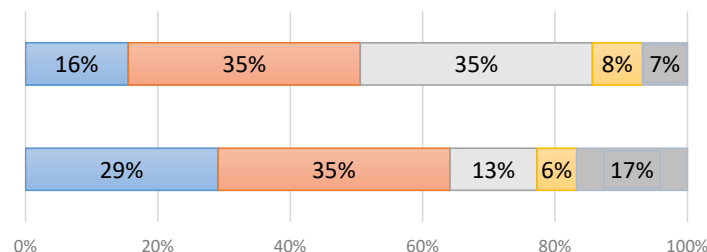
子育てしやすい職場の環境づくりを図る

6. 授業参観や地域活動のための休暇や、育児休業、看護休暇など、子どもにかかわる休暇（=まなざし休暇）を取りやすい雰囲気づくりを進めている
7. 週のうち1日はノー残業デーに取り組んでいる



子どもを取り巻く環境に配慮する

8. 情報（看板・HPなど）を発信する際には子どもへの配慮を心がけている
9. “子ども110番の家”や移動中の見守り活動を行っている



育児休業・育児休暇の取得状況

10. 対象期間中*、本人または配偶者が育児休業・育児休暇を取得した人の割合

*対象期間 【出産】R4.9.1～R5.8.31 【育児休業・休暇取得】R5.9.1～R6.8.31

